

まちトーク&地域力アップ応援金のご案内

健康福祉課生活支援係 TEL 25-1181 鳥羽市社会福祉協議会 TEL 25-1188

鳥羽市と鳥羽市社会福祉協議会（社協）では、地域共生社会の実現に向けて、「まちトーク」を開催しています。まちの良いところや課題について意見を出し合い、わがまちの未来について一緒に考えてみませんか？

まちトークで出てきたアイデアを地域で実践する場合には、「地域力アップ応援金」で応援します。

? まちトーク とは

町内会・自治会や地域の各種団体（老人クラブやサロンなど）の集会に市職員と社協職員が参加させていただき、まちの「いま」と「これから」について話し合い、わがまちで何ができるかを一緒に考えていく懇談会です。

市では、地域共生社会の実現に向け、地域の人たちが顔見知りになり、ゆるやかにつながることで、地域の課題解決ができる地域づくりをすすめています。

まちトークは、「まちの魅力をみんなに伝えたい」「いろんな人とつながりたい」「地域のために何かしたい」「居場所をつくりたい」…など、さまざまな思いをお持ちのかたが集まり、楽しみながらまちの「いま」と「これから」について考える場となっています。

令和7年度は5地区で実施され、参加者は町内会・自治会の役員、民生委員・児童委員、市民活動団体などさまざまです。過去には小学校や中学校の子どもたちが参加するまちトークも開催されています。

? 地域力アップ応援金 とは

まちトークなどで話し合われた、地域でやってみたい取り組みや地域の課題などを解決するために実施したい取り組みについて、話し合うだけで終わりにせず実際に実施できるよう、取り組みの立ち上げに必要な経費（取り組み初年度にかかる経費）について応援金を支給します（1団体20万円まで）。

例えば、取り組みに必要な消耗品や備品、講師の謝金、初年度の食材費や光熱水費などが対象です。くわしくは、まちトーク実施に向けた打ち合わせなどで市・社協職員から説明します。

! まちトークでの話し合いから実際に実現した例を紹介します

① 子ども会がなくなったけど、いろんな関わりが持てる場がほしい…（大明東町の例）



子どもが主催する「子ども無料縁日」を開催！当日は、子育て世代から高齢世帯まで、多世代の交流の場となりました。

② 新しい仕掛けの立ち上げにはお金がかかるけれど…（池上町の例）



冷蔵庫などに保管できる救急医療情報キットを町内会が希望世帯に配布！（キット購入には地域力アップ応援金を活用）

問い合わせ先 鳥羽市社会福祉協議会 地域力強化推進事業担当(谷)
TEL 25-1188 ✉ marugoto-soudan@toba-shakyo.or.jp

気軽に問い合わせてください！